

## (給湯器用)

既設の給湯機器に対して30%以上の省CO<sub>2</sub>効果が得られることが分かる資料(例)

※ 使用日数や使用時間の制限等の運用の変更による削減効果はここでは含みません。

※ 計算で使用する数値についてはメーカーや取扱業者等にご相談ください。

例:給湯機器の新旧比較

○入替後の機器について、ここではヒートポンプ給湯器(エコキュート)、潜熱回収型ガス給湯器(エコジョーズ)、電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯器(ハイブリッド給湯器)等を想定しています。

		既存機器	入替後機器
メーカー型番			
電気	定格消費電力	kW	kW
ガス	燃料消費量	都市ガス	Nm <sup>3</sup> /h
		LPG(重量ベース)	kg/h
		LPG(体積ベース)	Nm <sup>3</sup> /h
灯油	燃料消費量	L/h	L/h
排出係数	電力 ※1	0.526 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	0.526 kg-CO <sub>2</sub> /kWh
	都市ガス ※2	kg-CO <sub>2</sub> /Nm <sup>3</sup>	kg-CO <sub>2</sub> /Nm <sup>3</sup>
	LPG(重量ベース) ※3	2.99 kg-CO <sub>2</sub> /kg	2.99 kg-CO <sub>2</sub> /kg
	LPG(体積ベース) ※4	6.52 kg-CO <sub>2</sub> /Nm <sup>3</sup>	6.52 kg-CO <sub>2</sub> /Nm <sup>3</sup>
	灯油 ※5	2.50 kg-CO <sub>2</sub> /L	2.50 kg-CO <sub>2</sub> /L
CO <sub>2</sub> 排出量 (消費電力量×排出係数)又は(燃料消費量×排出係数)		A kg-CO <sub>2</sub> /h	B kg-CO <sub>2</sub> /h
CO <sub>2</sub> 削減効果 (A-B)/A×100 ※30%以上であること			%

※1 電力排出係数について、募集開始時直近の四国電力の調整後排出係数を使用しています。

※2 都市ガスの排出係数について、供給元の都市ガス事業者の排出係数を使用してください。

※3 プロパンの排出係数について、環境省 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の排出係数一覧を使用しています。

※4 体積ベースで換算する場合は、1Nm<sup>3</sup>=2.18kgであることから、2.18kg/Nm<sup>3</sup>×2.99kg-CO<sub>2</sub>/kg=6.52kg-CO<sub>2</sub>/Nm<sup>3</sup>を使用しています。

※5 灯油の排出係数について、環境省 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の排出係数一覧を使用しています。

※6 ハイブリッド給湯器の場合は、基本的に電気の使用のみに係る消費電力量を記入するが、初めからガスを使用することを想定している場合は、ガスの消費量相当も込みで算定してください。